

## 2008年6月 ITU-R SG1 会合報告書(案)

【会合名称】 ITU-R SG1 会合  
(周波数管理に関する研究委員会)

【会期】 2008年6月26日～6月27日

【開催場所】 スイス・ジュネーブ ITU 本部

## 【概要】

本会合は、今研究期間における第1回会合である。61ヶ国の主管庁と15の認められた通信、放送、科学技術、工業団体、地域及び国際機関並びに事務局より計168名が参加した。日本からの参加者は、小泉周波数調整官(総務省)、南電波監視官(総務省)、亀谷(国立天文台)、森田(三菱電機)、小坂(電波産業会)の5名である。

WP1A、1B及び1Cからの寄書及び他グループからのリエゾン文書等を含め計33件の文書が入力され、改定勧告案3件、このうち2件は郵便投票での同時承認手続(PSAA)に諮られることとなり、1件は、通常の方法による承認手続とした。また、新研究レポート1件が採択された。新及び改訂研究課題に関する入力文書はなかった。なお、既存の研究課題の見直しを所掌とするラポーター・グループが設置された。

次回のSG1会合は2009年9月にスイス(ジュネーブ)ITU本部で開催を予定している。なお、WP1A、WP1B、監視ハンドブックグループの会合が2009年2月25日から3月4日にかけて韓国(開催都市未定)で開催予定である。

## 1 WPの議長副議長の指名

入力文書 Doc.1/10

今会合は、昨年開催されたRA-07の終了とともに始まった新研究会期の最初の会合であるため、WP議長の指名が行われた。SG1議長の提案により、WP1A議長には中国のMr. X. ZHOU(新任)、WP1B議長にはロシアのMr. S. PASTUKH(新任)、そしてWP1C議長にはオランダのMr. J. J. VERDUIJN(再任)が特に異論なくそれぞれ指名された。なお、これらの新議長はSG1会合の直前に開かれたWP会合において、議長代行を務めている。

また、WP1Aの議長としてMr. Souza(ブラジル)が議長より提案された。これに対しては、イランから本来WP1Aで議論すべきとし、Mr. Souzaについては例外的に同意する旨の発言があった。なお、WP1Bの議長は、副議長を不要とした。

## 2 勧告案

WP1BとWP1Cから提出された3件の勧告改定案が承認された。なお、WP1Bからは、SGでの承認を求める新あるいは改定勧告案の提出はなかった。

## 2.1 WP1A関連改定勧告案

入力文書 Doc.1/24, 1/25

WP1Aから入力された以下の改定勧告案2件については、若干のエディトリアルな修正を行った

上で採択し、郵便投票での承認手続(PSAA(Member Statesに送付され、承認へ))を行うこととなった。

勧告名	表題	種別
SM. 337-5	SM.337-5 - Frequency and distance separations	改定
SM. 1138-1	Determination of necessary bandwidths including examples for their calculation and associated examples for the designation of emission	改定

## 2.2 WP1C関連改定勧告案

入力文書 Doc.1/31

WP1Cから入力された改定勧告案1件については、若干のエディトリアルな修正が行われた。シリアから、なるべく早く他の5ヶ国語の公式言語に翻訳するようとの要求があった。シリアからはさらに、通常の手続きでの承認が要求され(理由は述べられなかった)、本改定勧告案のみが通常の承認手続きとなった。

勧告名	表題	種別
SM. 1723	Automated mobile spectrum monitoring unit	改定

## 3 研究報告

SG会合に入力された研究報告の新設、改定にかかわる文書はWP1Cからの1件のみであった。

### 3.1 WP1Cからの新研究報告案

入力文書 Doc.1/28

WP1Cから入力された以下の新研究報告案1件についての審議を行い、承認した。イランから、Radiocommunication analyzerの用語について疑義が呈され、ドイツ、日本からは一般的に使用されているとの発言はあったが、イランが固執したため、協議の結果Signal analyzerにするなどの小修正のほか、Annex 1(電波監視管理システム)の内容がブラジルの状況について述べたものであるため、タイトルにas used in Brasilを追加し、承認された。

研究報告名	表題	種別
SM.[INSPECTION]	Inspection of radio stations	新報告

## 4 勧告、報告、研究課題の削除

### (1) 4.1 WP1A関係

入力文書 Doc.1/23

## (1)主要結果

以下の研究課題の削除が、特段の議論もなく承認された。

Q 番号	タイトル	理由
66/1	Methods and algorithms for frequency planning	8 年以上経過
211/1	Unwanted emissions	多くの勧告、報告が作成され使命は終わった
212/1	Development of method(s) for the determination of the coordination area around earth stations	本研究課題の基づく研究成果が勧告 SM.1448 や RR 付録 7 号に反映された。なお、勧告 SM.1448 の改定は決議 74 により行うことができる。
217/1	Compatibility between short range devices operating within the band 59-64 GHz and industrial, scientific and medical (ISM) applications operating in the band 61-61.5 GHz	削除可能とされているが理由は示されていない。
227/1	Compatibility between ultra-wideband devices and radiocommunication services	作業終了
228/1	Possibility and relevance of including in the Radio Regulations frequency bands above 3 000 GHz	WRC-11 の議題 1.6 と 7 により、本研究課題は削除される。

## 4.2 WP1B関係

入力文書 Doc.1/21

以下の研究課題の削除が承認された。Doc.1/21ではQ.216(Spectrum redeployment as a method of national spectrum management)の削除が提案されていた。この理由としては、も長年本研究課題に関するStudyがされなかった(シリア)、研究は終了した(WP1B議長)である。しかし、イランからは、まだ研究は終了していないと反対が表明され、本研究課題は削除せず、改定を含めて今後検討することとした。

Q.224(Technical convergence with respect to terrestrial fixed, mobile, and broadcasting interactive multimedia applications and the associated regulatory environment)の削除は提案されていなかった。しかし、シリアからWRC-11の議題1.2(国際的な周波数監理枠組の見直し)と内容が重複するため削除が適当との発言があった。これに対してドイツは、Q.224は議題1.2と関係ない事項が含まれており、むしろ改定が必要との意見を述べ、今後検討することとした。

なお、WP1Bが審議中である勧告1538(SRD)の改定については、WRC-11の議題に関係していることから、シリアから多くのアラブ諸国が反対しているとのステートメントが述べられ、レバノンとチュニジアがこれに同意する発言をしている。

Q 番号	タイトル	理由
<u>207/1</u>	Assessment, for spectrum planning and strategic development, of the benefits arising from the use of the radio spectrum	もはや不必要
<u>213/1</u>	Technical and operating parameters and spectrum requirements for short range devices	研究終了
<u>223/1</u>	Guidance on the regulatory framework for national spectrum management	研究終了
<u>226/1</u>	Spectrum management framework related to the introduction of ultra-wideband devices	研究終了
<u>229/1</u>	Improving the international spectrum regulatory framework	WRC-11 の議題 1.2 により削除

### 4.3 WP1C関係

入力文書 Doc.1/23

研究課題の削除提案はなく、以下の小修正と今後の方針が特段の議論はなく承認された。

- ・ Q. 202(Measurement of various interference sources)と Q. 220(Various interference sources)のマージ。また、この結果の新研究課題は WP1A と WP1C の両 WP の所掌とする。
- ・ Q. 214(Monitoring of digital broadcasting signal)と Q. 219(Remote access to radio monitoring equipment)については、ITU-R 決議 5 に従う新たな研究課題とする。
- ・ Q. 215(Monitoring of the radio coverage of land mobile networks)と Q.230(Mesurement methods for unwanted emissions of primary radars)については、研究終了年を、それぞれ 2010 年と 2011 年にする。

なお、WRC-11の議題1.22(SRD)に関し、イスラエルは測定に関する作業をWP1Cで行うべきとした。フランスは反対したが、関係者が打ち合わせ、結局WP1CをInterested Groupとする方向でCPM議長と相談することとした。

### 5 今後の研究課題の見直し

入力文書 Doc.1/16、1/23、1/21、1/29、1/30

出力文書 Doc.1/37(議長報告)Annex 1

シリア(Doc.1/16)はSG1に割り当てられた研究課題見直し(Suppression、Edditing、Merging)のためのラポータ・グループの設置を提案しており、またWP1C(Doc.29、30)も同様にラポータ・グ

ループの設置を対案した。これらは大きな反対もなく承認された。ただし、決議ITU-R 1及び5に沿った検討をすべきとの意見が出されている。なお、本ラポーター・グループの所掌事項がオフラインで作成され、また、本グループの議長としてはDr. Ryu(韓国)が指名された。

## 6 他グループとの関係

### 6.1 CCV

CCVへのラポーターにはフランスのMr. Olivierを再指名した。

### 6.2 ITU-R Study Groups

入力文書 Doc.1/9, 1/17, 1/34

出力文書 Doc.1/37(議長報告) Annex 2, 3

Doc.1/9(SG4)は複数のWPが関与する事項についてのSG4の見解をまとめたリエゾン文書であり、このような場合は各WPの検討する内容をSGで審議すべきであり、また結果は中心となるWPが所属するSGで承認の後、他のSGの了解を得ることとしている。Doc.1/34(SG1議長)は本文書に対する返書案であり、TG1/8などの経験を述べるとともに、原則は干渉を受ける業務を所掌としているWPが中心となり作業すべきとしている。本件については、Dr.Ryu(韓国、SG1副議長)を議長とする小グループで検討され、SG4への返書(議長報告Annex 2)が作成された(Doc.1/37 Annex 2)。本文書では、WRC-11に関連する事項についてはCPMの結果に基づくべきであり、その他の事項については相互の合意が必要としている。

Doc.1/17(SG6からのリエゾン文書)は、PLTからの放送業務の保護を強調するリエゾン文書である。本文書に対しては、SG1ではPLT無線通信業務へのインパクトに関する新報告の作成作業を開始した(WP1Aで行われる)旨の返書を作成した(Doc.1/37 Annex 3)。

### 6.3 ITU-T Sector

入力文書 Doc.1/13

出力文書 Doc.1/37 Annex 4

ITU-TのSG16からのリエゾン文書であるDoc.1/13はITSに関するITU-Tの取り組み状況を説明するものである。しかし、ITSは現在WP5Aが所掌しており、SG1とどのような関りがあるのかが問題になった。ITU-TのSG16の参加者からの説明では、SG16ではむしろセンサーに重点を置いた議論であったの説明があった。このため、すでにWP5AがITSに関する検討を行っているが、SRDやUWBに関わるものであればSG1でも関係するとの返書が作成された。

## 7 今後の予定

次回のSG1会合、WP1C会合及び次々回WP1A、1B会合は、2009年の9月16日から25日にかけての開催が予定されている。しかし、9月14日からCPG会合が予定されているため、変更が要求された。しかし、現段階ではSG1関係会合の予定変更は困難な状況であることがCounsellorから説明されている。

なお、次回のWP1A及びWP1B会合は、2009年2月25日から3月4日にかけて韓国(都市名未定)で開催される予定である。なおこの期間、ハンドブック(Spectrum monitoring)のアドホック会合やWRC-11の議題1.2のラポーター・グループ会合も開かれる。

入力文書

書番号	提出元	表題
1+ Corr.1	SG 1	Questions assigned to Radiocommunication Study Group 1
2	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1, 3, 4 and 5
3	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Group 1
4	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1 and 5 - Recommendation ITU-R P.1814
5	BR Study Group Department	ITU-R Study Group Question to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 and 7 - Question 212-3/8 "Nomadic wireless access systems including radio local area networks for mobile applications"
6	BR Study Group Department	ITU-R Study Group Question to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 (former SG 9) and 6 - Question 241-1/8 "Cognitive radio systems in the mobile service"
7	BR Study Group Department	Recommendation to be brought to the attention of Study Groups 1, 4, 5 (former SGs 8 and 9) and 6 - Recommendation ITU-R RA.1031-2 "Protection of the radio astronomy service in frequency bands shared with other services"
8	BR Study Group Department	ITU-R Study Group 5 (Formerly SG 8) Question 230-2/8 to be brought to the attention of Study Groups 1 and 6
9	SG 4	Liaison statement to Study Groups 1, 3, 5, 6 and 7 - Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group
10	Chairman, SG 1	Structure of Study Group 1 and its Working Parties
11+ Corr.1	Chairman, Study Group 1	Provisional attribution of the Study Group 1 texts to the Working Parties
12	Chairman, Study Group 1	WRC-07 Resolutions and Recommendations related to the work of Study Group 1
13	ITU-T SG 16	Liaison statement to Study Groups in ITU and other Groups on initiation of a new question on vehicle gateway platform
13	ITU-T SG 16	Liaison statement to Study Groups in ITU and other Groups on initiation of a new question on vehicle gateway platform
14	Germany (Federal Republic of)	CISPR22 - limits and method of measurement of broadband telecommunication equipment over power lines
15	Japan	CISPR22 - Limits and method of measurement of broadband telecommunication equipment over power lines

書番号	提出元	表題
16	Syrian Arab Republic	Implementation of Resolution ITU-R 5-5 (Rev. 2007)
17	SG 6	Liaison statement to Study Group 1 - Coordination of studies into PLT systems
18	Chairman, SG 1	Summary record of the meeting of Radiocommunication Study Group 1
19	Chairman, SG 1	Report of the final acceptance of the Version 2 of the SMS4DC software
20	WP 1C	Draft revised scope for Working Party 1C
21	WP 1B	Review of the ITU-R Questions assigned to Working Party 1B
22	Acting Chairman, WP 1B	Executive Report to Study Group 1
23	WP 1A	Review of the ITU-R Questions assigned to Working Party 1A
24	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.337-5 - Frequency and distance separations
25	WP 1A	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1138-1 - Determination of necessary bandwidths including examples for their calculation and associated examples for the designation of emission
26	Rapporteur Group on liaison with CISPR	Draft liaison statement to CISPR - Limits and method of measurement of broadband telecommunication equipment over power lines
27	Rapporteur Group on liaison with CISPR	Report of ITU-R SG 1 activities of interest to CISPR
28	WP 1C	Draft new Report ITU-R SM.[INSPECTION] - Inspection of radio stations
29	Chairman, SG 1	Proposed creation of a Rapporteur Group on Questions, assigned to Study Group 1 - Draft terms of reference
30	WP 1C	Review of the ITU-R Questions assigned to Study Group 1
31	WP 1C	Draft revision of Recommendation ITU-R SM.1723 - Automated mobile spectrum monitoring unit
32	Acting Chairman, WP 1A	Executive Report to Study Group 1
33	Chairman, WP 1C	Executive Report to Study Group 1
34	Chairman, SG 1	Proposed draft reply to Study Group 4 liaison statement - Inter-working of Study Group 4 with other ITU-R Study Groups for issues involving Working Parties of more than one Study Group

書番号	提出元	表題
35	BR Study Group Department	List of documents issued
36	Director, BR	Final List of Participants (Geneva, 26-27 June 2008)
37	Chairman, SG 1	Summary Record of Study Group 1 meeting (26-27 June 2008)

注 Doc.37 は SG1 会合終了後に入力